

決算説明会 第2四半期(累計) (2014年6月期)

2014年2月14日

株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

- 数値： 単位未満四捨五入
- 比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入
- 会計期間の表現：
 - 2Q(累計)：第2四半期連結累計期間
 - 2Q : 第2四半期連結会計期間

アジェンダ

- ごあいさつ
- 2014年6月期第2四半期(累計)
連結業績概要
- 2014年6月期連結業績予想
- 質疑応答

2014/6期2Q(累計)業績

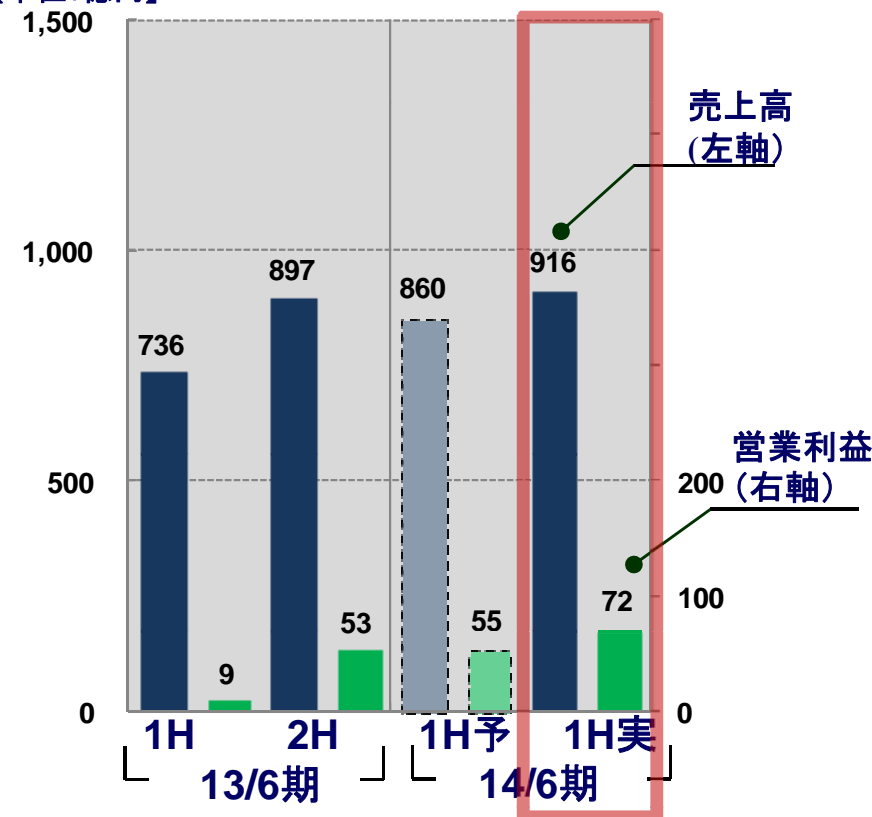
受注高は、前年同期比で4%増の821億円、売上高は前年同期比で24%増の916億円、原価削減や固定費圧縮などを行った結果、営業利益は、前年同期比733%増の72億円であった。当期純利益は、71億円と黒字転換を達成。

【単位:億円】

	2013/6期 2Q(累計)	2014/6期 2Q(累計)			
		予想 (11/12)	実績	前年同期比 (増減率)	予想比 (増減率)
受注高	788		821	34 (+4%)	
受注残高	718		627		
売上高	736	860	916	180 (+25%)	56 (+7%)
売上総利益 率	166 22.6%		225 24.6%	59	
販管費	157		153	-4	
営業利益 率	9 1.2%	55 6.4%	72 7.9%	63 (+733%)	17 (+31%)
経常利益 率	6 0.8%	50 5.8%	81 8.8%	75 (-)	31 (+62%)
四半期純利益	-8 (-)	45 (-)	71	78 (-)	26 (+57%)

売上高と営業利益の推移(半期毎)

【単位:億円】



【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高の推移(半期毎)

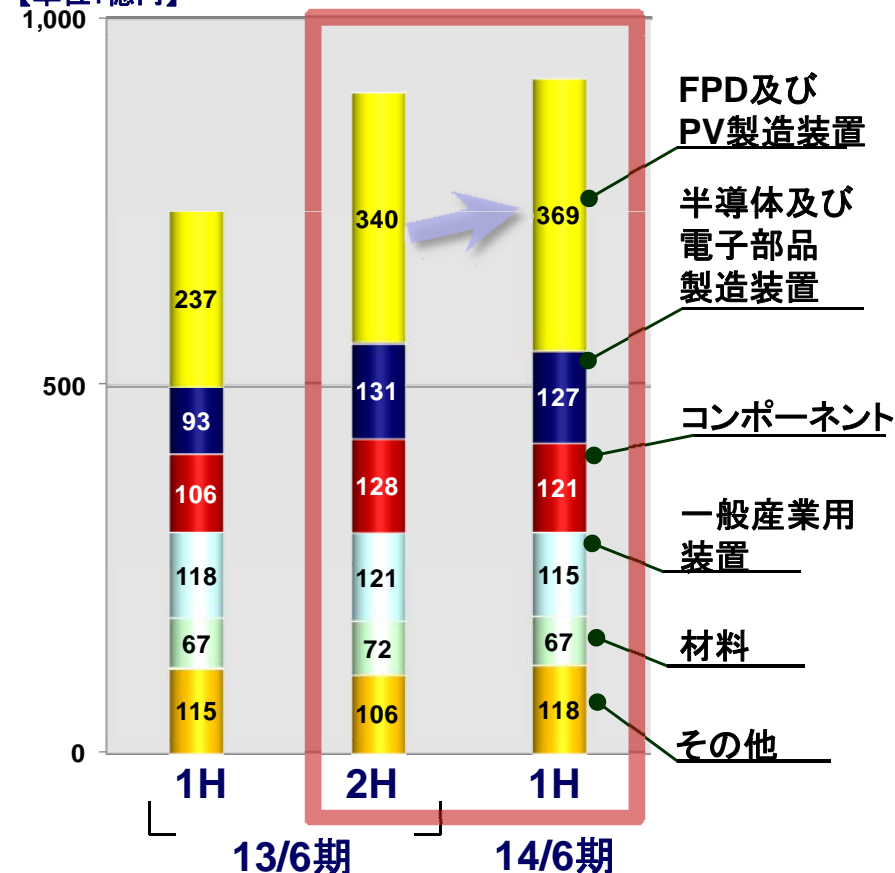
期初受注残の多かった有機EL(OLED)製造装置を中心にFPD製造装置が前期比で増加。半導体及び電子部品製造装置は、投資回復が遅れ前期比で減少。一方、「その他」は表面分析、マスクブランクスなどが堅調に推移し前期比で増加。

品目別売上高(半期毎)

【単位:億円】

セグメント及び品目	2013/6期		2014/6期	
	1H (7-12月)	2H (1-6月)	1H (7-12月)	前期比
真空機器事業	553	719	732	12
FPD及びPV製造装置	237	340	369	29
半導体及び電子部品製造装置	93	131	127	-4
コンポーネント	106	128	121	-7
一般産業用装置	118	121	115	-6
真空応用事業	183	178	185	7
材料	67	72	67	-5
その他	115	106	118	12
合計	736	897	916	19

【単位:億円】



【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高の推移(半期毎)

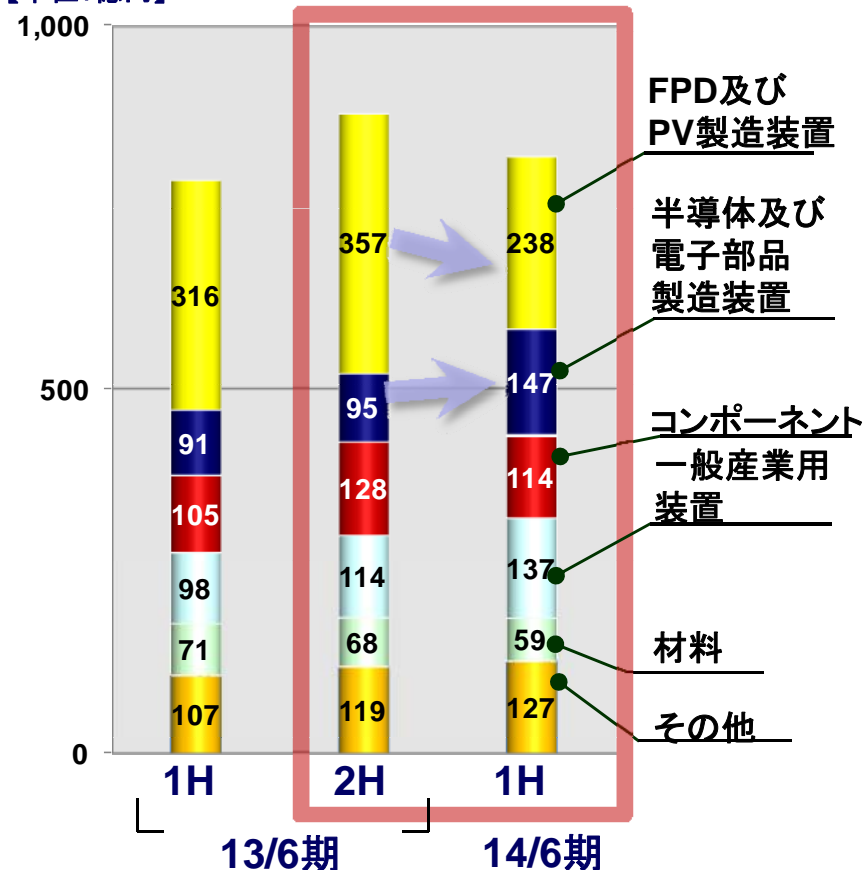
FPD関連の投資が一時的に低迷し、FPD及びPV製造装置は前期比で減少。半導体及び電子部品製造装置は、メモリやパワー半導体などの投資が活発となり、前期比で大幅増。また、一般産業用装置は自動車関連が、「その他」は表面分析関連が共に好調で、前期比で増加。

品目別受注高(半期毎)

【単位:億円】

セグメント及び品目	2013/6期		2014/6期	
	1H (7-12月)	2H (1-6月)	1H (7-12月)	前期比
真空機器事業	610	693	636	-58
FPD及びPV製造装置	316	357	238	-119
半導体及び電子部品製造装置	91	95	147	53
コンポーネント	105	128	114	-14
一般産業用装置	98	114	137	23
真空応用事業	178	187	186	-1
材料	71	68	59	-9
その他	107	119	127	8
合計	788	880	821	-59

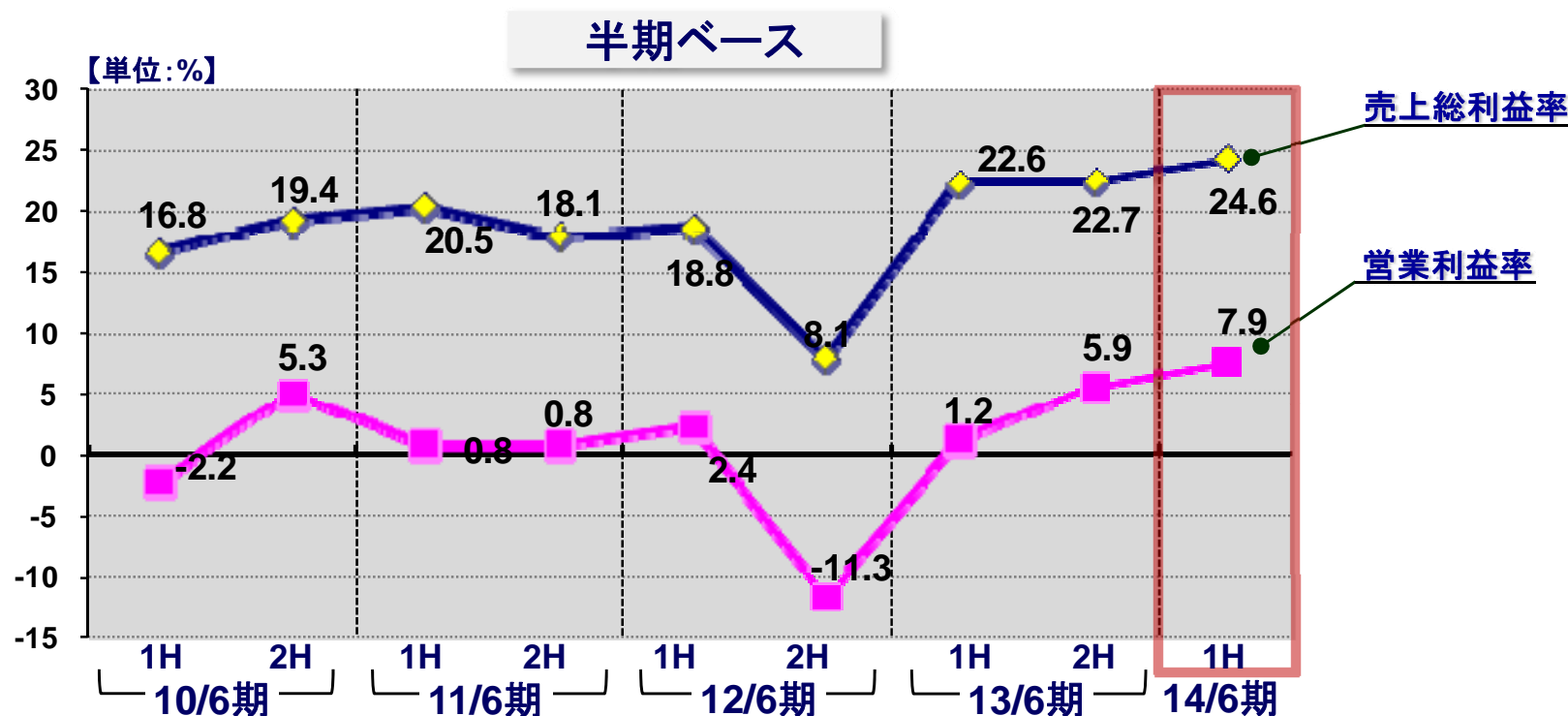
【単位:億円】



【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

利益率(半期)の推移

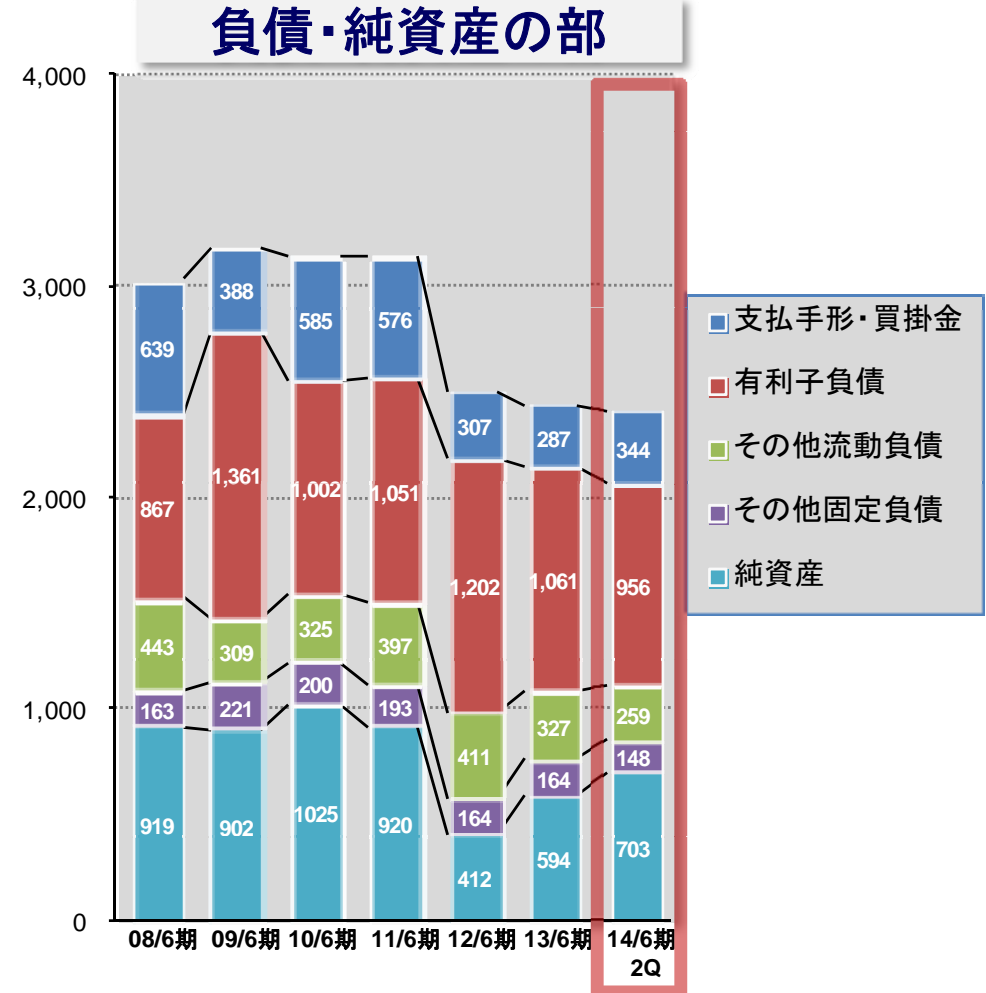
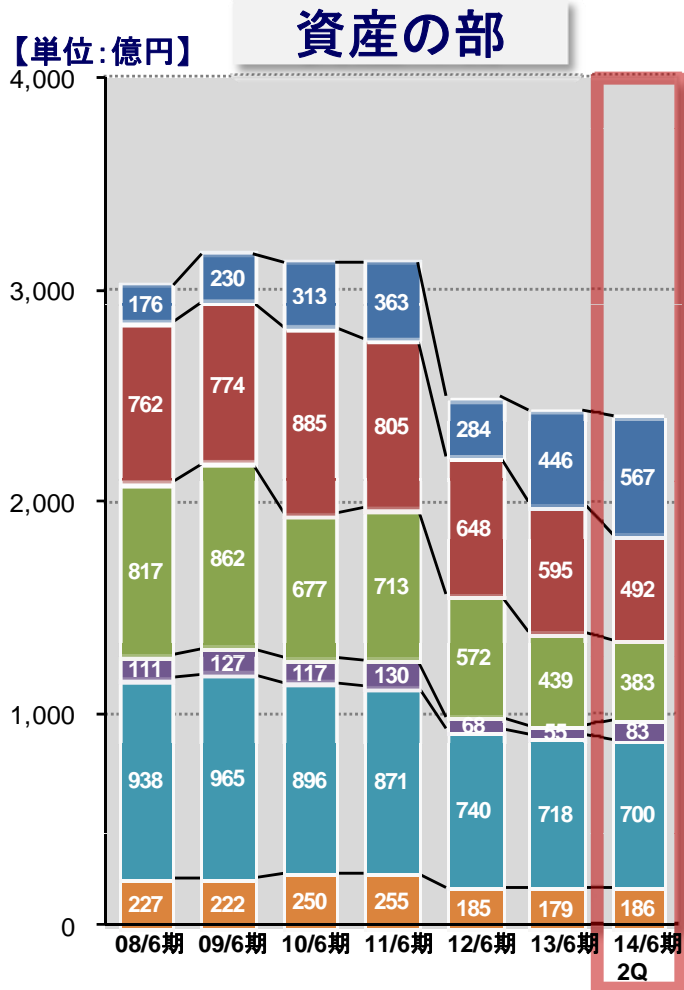
グループ全体でのコスト削減効果などで、売上総利益率、営業利益率とも前年同期比、前期比で改善した。



【小数点以下第2位は四捨五入】

連結貸借対照表

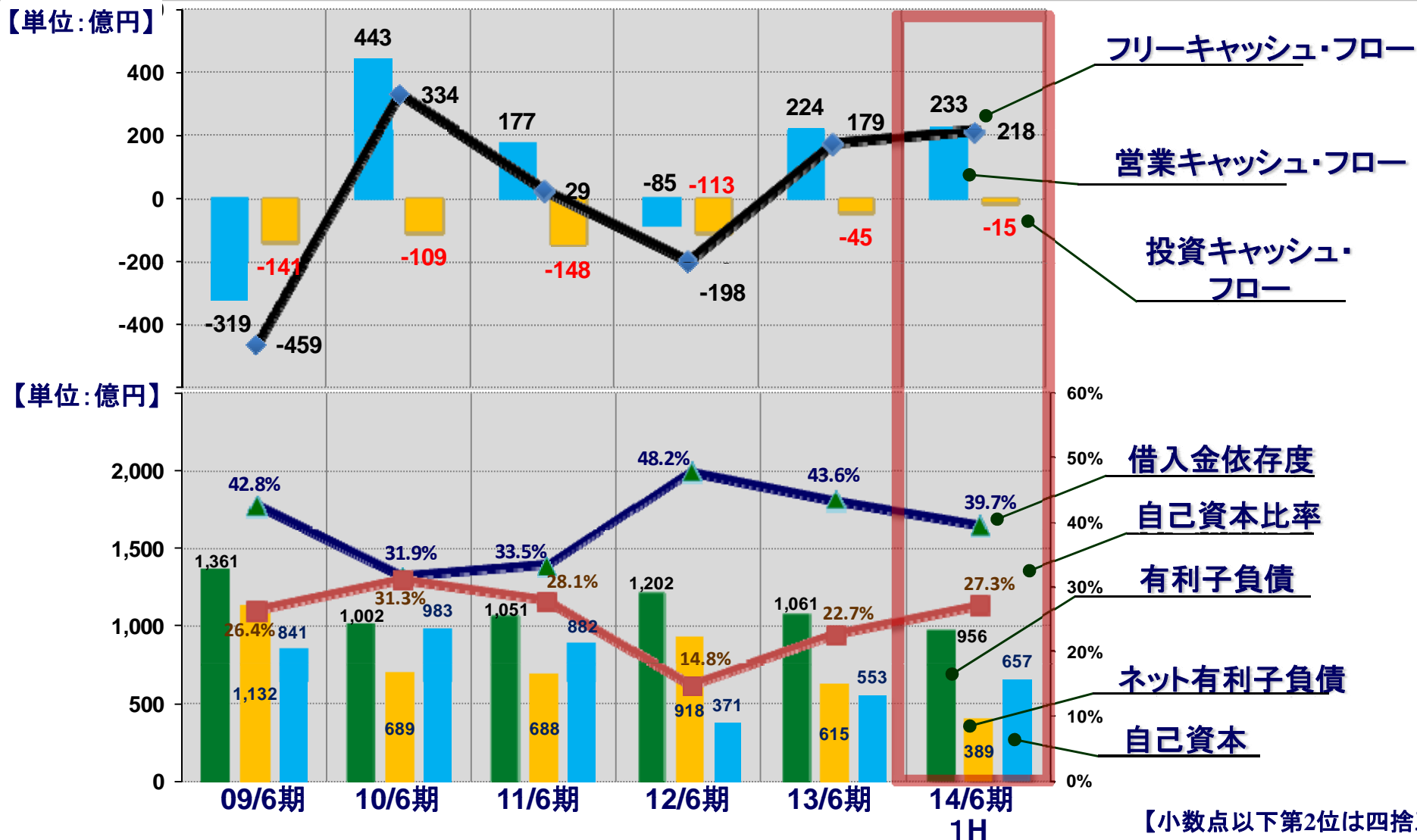
資産は、現金及び預金が120億円増加。受取手形及び売掛金が103億円、たな卸資産が56億円減少。負債は、有利子負債(長・短)が105億円減少。支払手形及び買掛金が57億円増加。純資産は、利益剰余金が70億円増加。



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

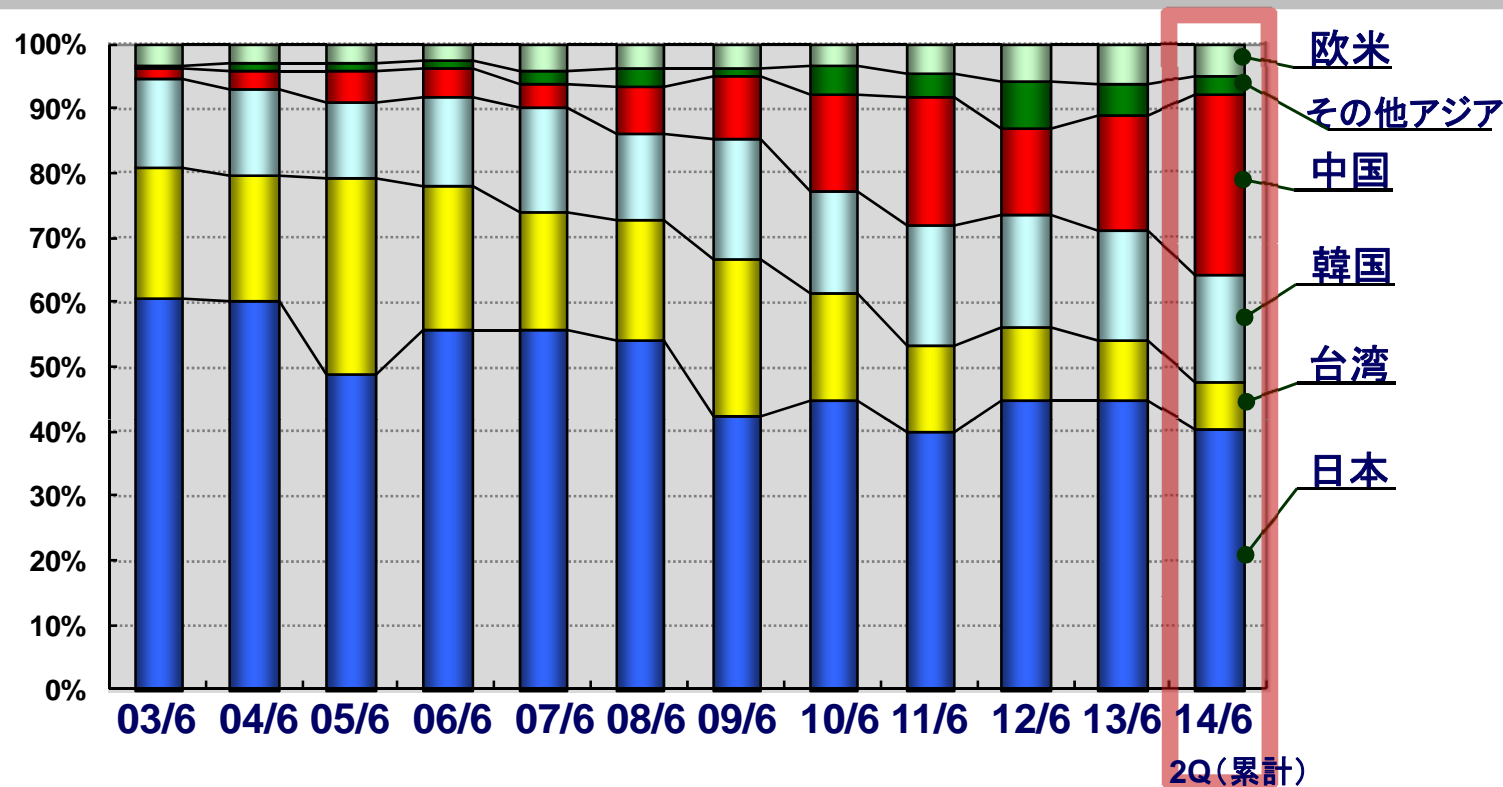
キャッシュ・フローと有利子負債の実績

税前四半期純利益91億円・運転資金圧縮175億円等で営業CFは233億円のプラス、投資CFは子会社株式の売却収入もあり15億円の支出に留まり、FCFは218億円のプラスとなった。ネット有利子負債は389億円にまで減少。



地域別売上高構成比の推移

地域別構成比では、日本、台湾向けの減少が続く一方、中国向けが増加。FPDが寄与。



	03/6期		04/6期		05/6期		06/6期		07/6期		08/6期		09/6期		10/6期		11/6期		12/6期		13/6期		14/6期2Q(累計)		
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	前期比	売上高	比率
日本	773	61%	953	60%	968	49%	1,189	56%	1,334	56%	1,307	54%	949	42%	995	45%	933	40%	886	45%	732	45%	-17%	372	41%
台湾	261	20%	304	19%	597	30%	473	22%	442	18%	451	19%	551	25%	369	17%	310	13%	223	11%	153	9%	-31%	64	7%
韓国	172	13%	211	13%	231	12%	292	14%	379	16%	326	14%	413	18%	354	16%	433	19%	341	17%	281	17%	-18%	154	17%
中国	22	2%	47	3%	94	5%	96	5%	90	4%	169	7%	212	9%	333	15%	454	20%	261	13%	288	18%	10%	254	28%
その他アジア	9	1%	16	1%	21	1%	26	1%	51	2%	70	3%	33	1%	96	4%	89	4%	147	7%	84	5%	-43%	27	3%
欧米	38	3%	47	3%	57	3%	48	2%	95	4%	89	4%	80	4%	72	3%	102	4%	111	6%	96	6%	-13%	45	5%
合計	1,275	100%	1,579	100%	1,968	100%	2,125	100%	2,392	100%	2,412	100%	2,238	100%	2,218	100%	2,320	100%	1,968	100%	1,634	100%	-17%	916	100%

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

アジェンダ

- ごあいさつ
- 2014年6月期第2四半期(累計)
連結業績概要
- **2014年6月期連結業績予想**
- 質疑応答

2014年6月期(通期)まとめ

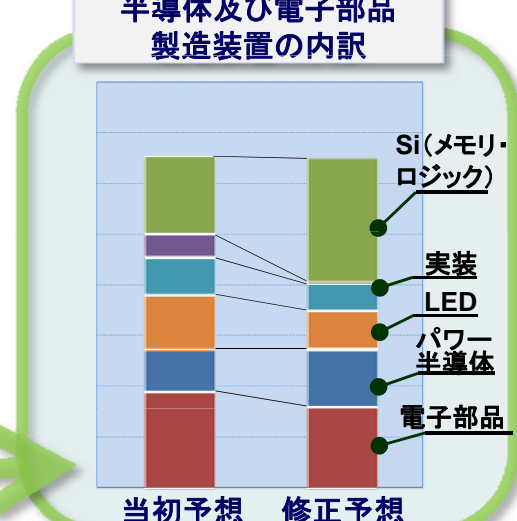
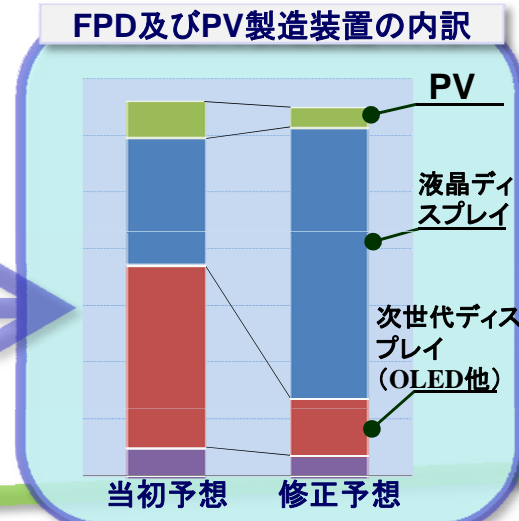
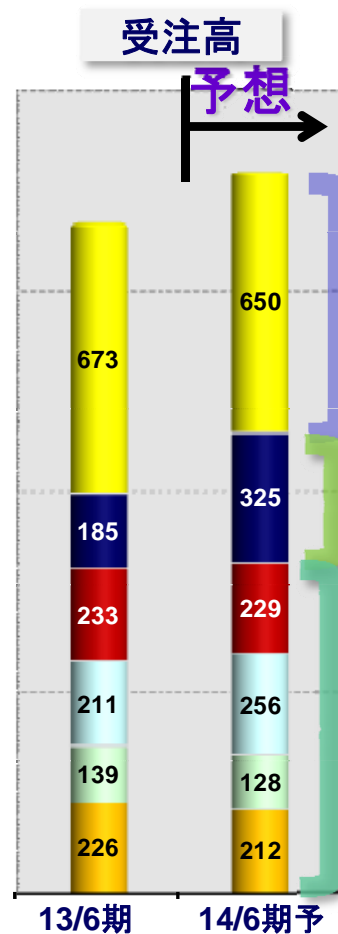
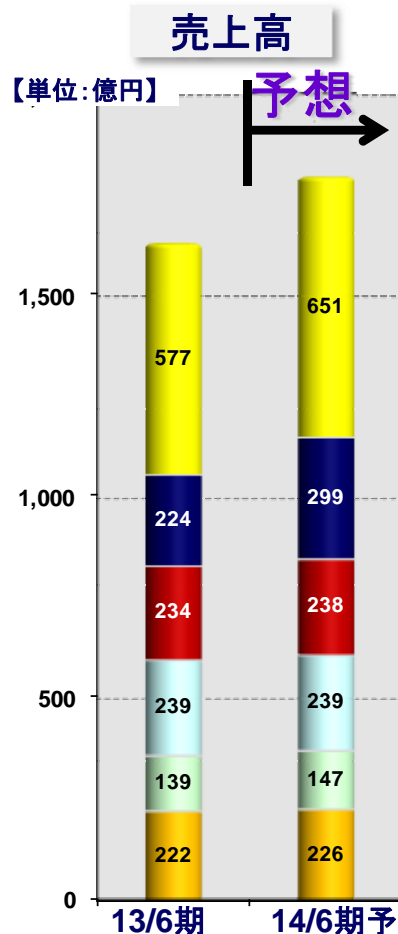
■ 当社を取り巻く今後の市場環境

- 半導体 :急速に進むクラウド化の影響で、夏頃からメモリ、先端ロジックの投資が増加する予想。投資は年率10%以上の成長を見込む。加えて、不揮発メモリの投資が始まると見込む。
- FPD :大型液晶は中国中心に投資が継続するが2014年で投資一巡。今後4Kなど高精細液晶やフレキシブルディスプレイの投資が始まると予想するが、大幅な成長には不確実性が残る。
- スマートフォン :スマートフォン関連の高機能電子デバイス(MEMS、実装、薄膜電池など)の投資が堅調。
- 自動車 :カーエレクトロニクス(パワー半導体など)や自動車用部品などの投資が高水準のままキープ。エコカー関連も堅調。
- 医薬・食品 :高齢化や健康意識の高まりで医薬・健康食品のニーズが堅調。

継続して
成長が
見込まれる

品目別売上高・受注高予想(通期)

事業環境の急激な変化により、実績を加味した品目別予想を一部修正。



当初予想対比
 OLEDは投資時期変更で減少。一方中国、台湾向けに大型液晶投資や中小型液晶が増加。

当初予想対比
 メモリは想定以上。ロジック、実装は 想定を下回る。LEDは投資時期先延ばし。パワー半導体は想定以上。電子部品は高機能デバイスなど底堅い

当初予想対比
 コンポーネントは、分析機器、計測器、自動車関連が堅調。一般産業用装置は、自動車部品関連、高性能磁石など好調。「その他」は、表面分析、マスクブランクスが堅調。一方、材料はパネルメーカーの稼働率が上がらず伸び悩む。

- FPD及びPV製造装置
- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- 材料
- その他

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

構造改革から成長フェーズへ

■ 事業構造改革の成果

▶ 収益性向上

▶ 資産スリム化

- ・日本リライアンス(株)の株式売却(譲渡価額 16.4億円、売却益 8.4億円)
- ・不動産売却(アルバック理工(株)本社工場)契約
(譲渡価額 11億円、売却益 8.4億円)
- ・棚卸資産の圧縮 (13/6末比 ▲56億円)

■ 成長フェーズへの今後の取り組み(活性化)

▶ 個人と組織の活性化を推進

▶ 受注活動の活性化

- ・国際的な協力体制で受注活動を強力に推進(東南アジア、中国、欧米等)

▶ 開発の活性化

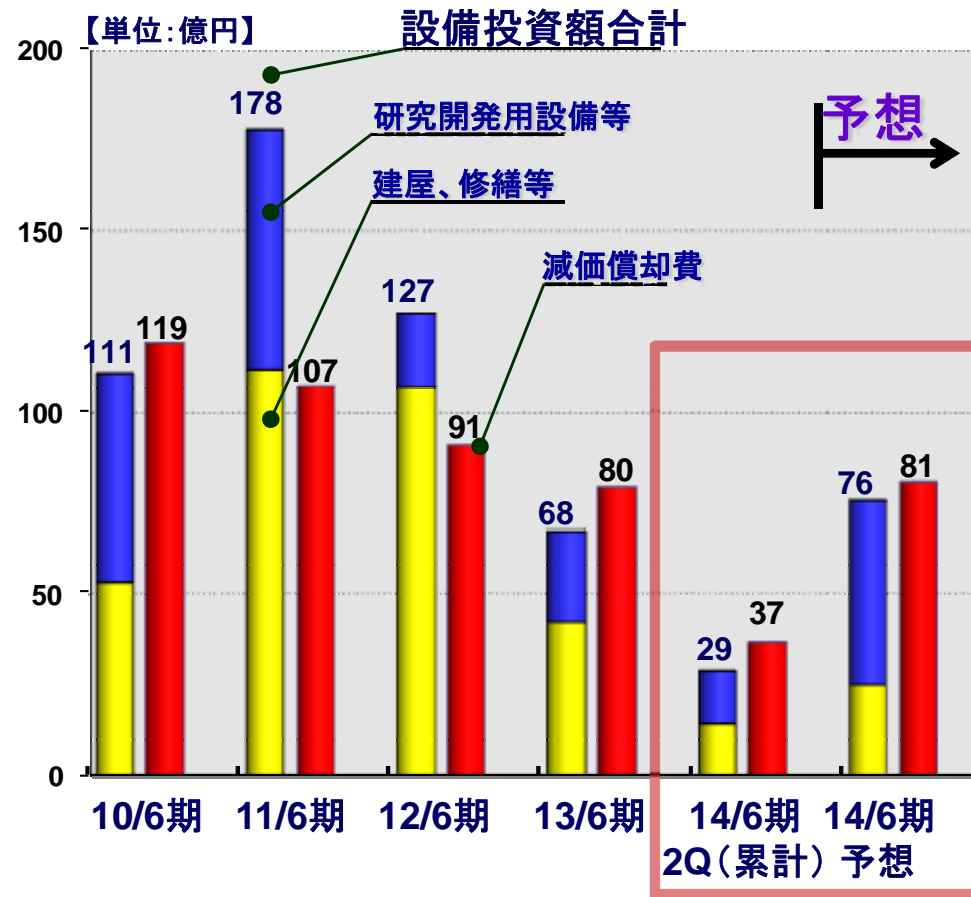
- ・顧客の要求が、益々高度化し、かつ、スピード、量、質を求められる。
- ・競争環境が更に厳しくなり、技術優位性の確保が必至。
- ・開発強化が急務

- ◆ 半導体 : 不揮発メモリ、3D-NAND等
- ◆ 電子 : 高機能デバイス(MEMS、実装、薄膜電池等)
- ◆ FPD : フレキシブルディスプレイ等

設備投資、減価償却費の推移・予想

当面は、研究開発投資は減価償却費内を維持。投資は、デモ機など研究開発設備中心に行い、次の成長フェーズに備える。

設備投資及び減価償却費の推移・予想



2014/6期業績予想

営業利益は、内外市場における価格競争が厳しさを増すと見込まれること等から、現時点では前回予想から変更なし。経常利益は、2Q(累計)の営業外収益の増加等を踏まえ、当期純利益は、これに加えて、固定資産譲渡に伴う特別利益を4Qに計上予定等を踏まえ、前回予想を修正。

【単位:億円】

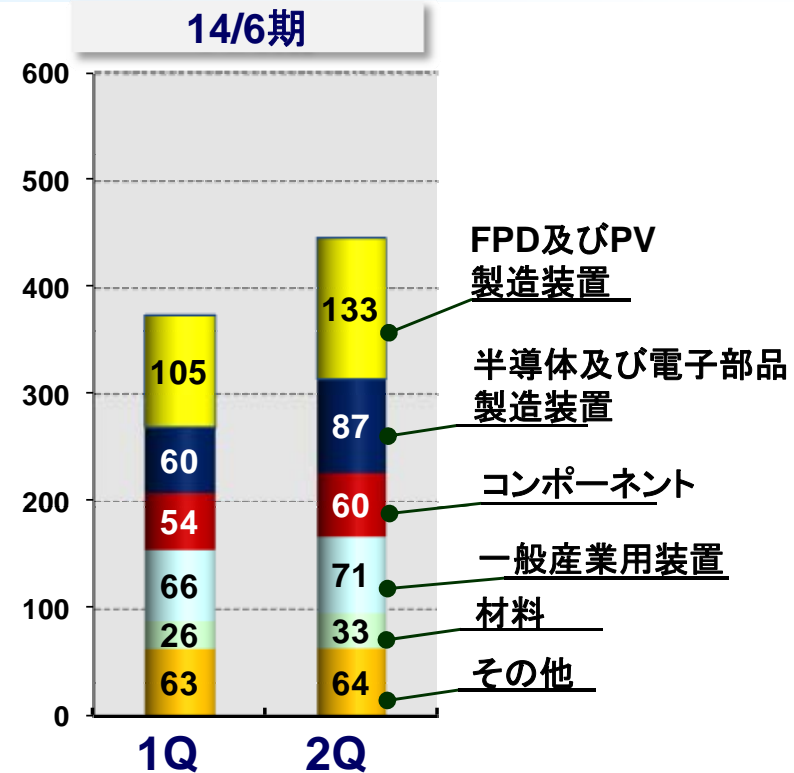
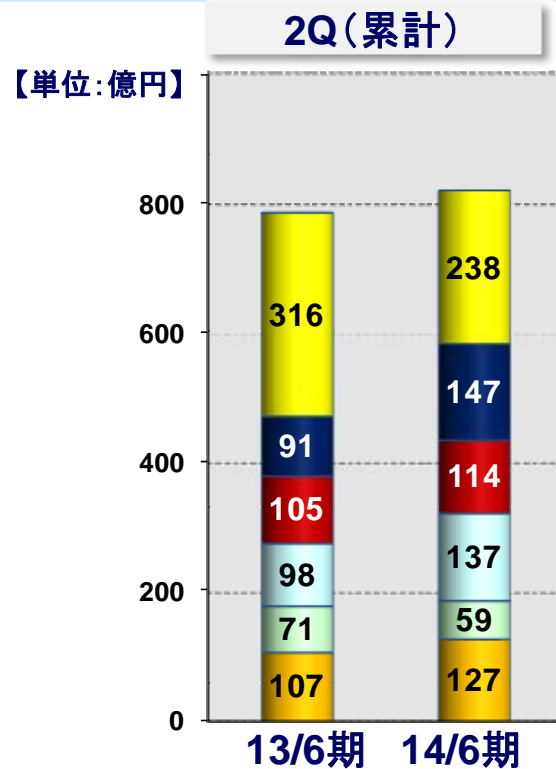
	(参考) 2013/6期 実績	2014/6期		
		2Q(累計) 実績	通期	
			前回予想	修正予想
受注高	1,668	821 (+4%)	1,800	1,800 (+8%)
受注残高	725	627		722
売上高	1,634	916 (+25%)	1,800	1,800 (+10%)
営業利益	61	72 (+733%)	90	90 (+47%)
率	3.7%	7.9%	5.0%	5.0%
経常利益	63	81 (-)	70	90 (+44%)
率	3.8%	8.8%	3.9%	5.0%
当期純利益	-38	71 (-)	50	75 (-)

【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

品目別受注高の実績



【単位:億円】

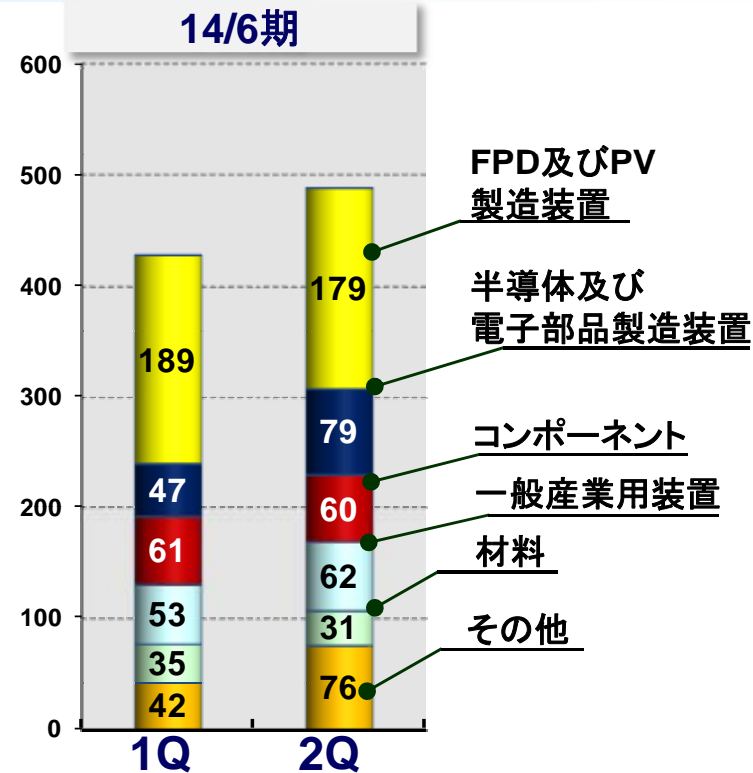
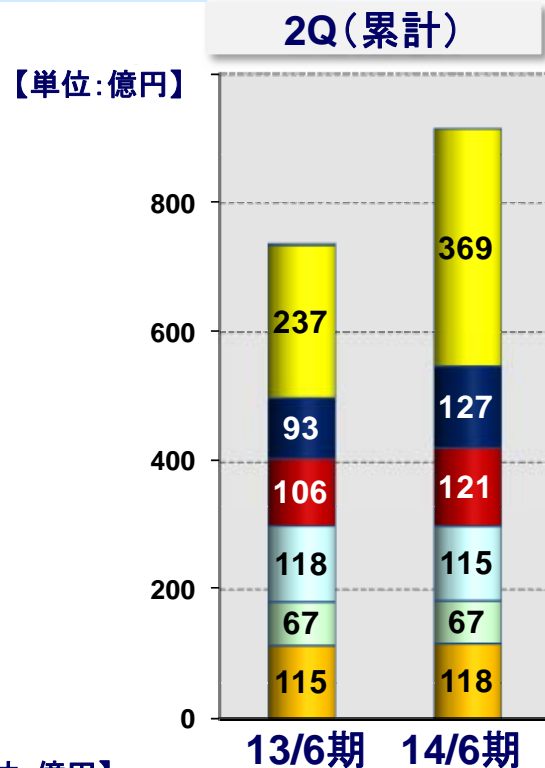
13/6期 2Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	610	77%
FPD及びPV製造装置	316	40%
半導体及び電子部品製造装置	91	12%
コンポーネント	105	13%
一般産業用装置	98	12%
真空応用事業	178	23%
材料	71	9%
その他	107	14%
合計	788	100%

14/6期 2Q(累計)			前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	
真空機器事業	636	77%	4%
FPD及びPV製造装置	238	29%	-25%
半導体及び電子部品製造装置	147	18%	62%
コンポーネント	114	14%	8%
一般産業用装置	137	17%	40%
真空応用事業	186	23%	4%
材料	59	7%	-17%
その他	127	15%	19%
合計	821	100%	4%

1Q		2Q	
受注高	構成比	受注高	構成比
285	76%	351	78%
105	28%	133	30%
60	16%	87	19%
54	14%	60	13%
66	18%	71	16%
89	24%	97	22%
26	7%	33	7%
63	17%	64	14%
374	100%	447	100%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別売上高の実績



【単位:億円】

13/6期 2Q(累計)		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	553	75%
FPD及びPV製造装置	237	32%
半導体及び電子部品製造装置	93	13%
コンポーネント	106	14%
一般産業用装置	118	16%
真空応用事業	183	25%
材料	67	9%
その他	115	16%
合計	736	100%

14/6期 2Q(累計)				前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比		
真空機器事業	732	80%		32%
FPD及びPV製造装置	369	40%		55%
半導体及び電子部品製造装置	127	14%		37%
コンポーネント	121	13%		14%
一般産業用装置	115	13%		-2%
真空応用事業	185	20%		1%
材料	67	7%		-1%
その他	118	13%		3%
合計	916	100%		24%

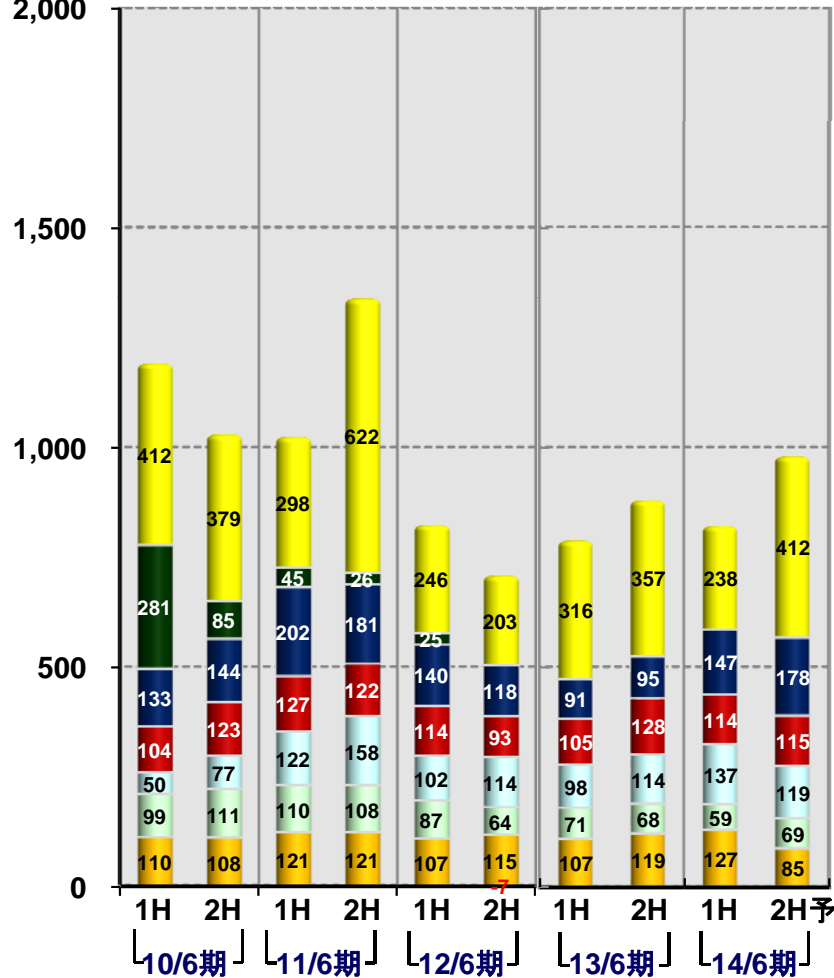
1Q		2Q	
売上高	構成比	売上高	構成比
351	82%	381	78%
189	44%	179	37%
47	11%	79	16%
61	14%	60	12%
53	12%	62	13%
77	18%	108	22%
35	8%	31	6%
42	10%	76	16%
428	100%	488	100%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

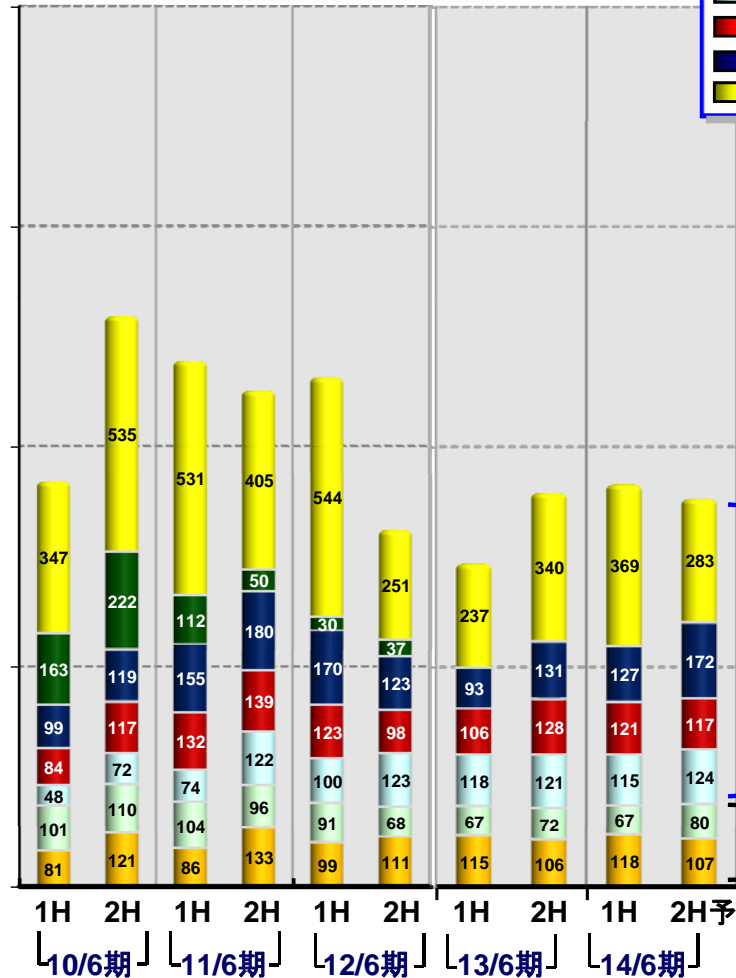
品目別受注高/売上高推移・予想(半期)

【単位:億円】
2,000

受注高



売上高



- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置*

注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。

真空機器事業

真空応用事業

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

真空テクノロジーで /
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC